

通し番号	3963
------	------

分類番号	15-2B-12-03
------	-------------

(成果情報名) 水稻紫黒米の品種比較	
<p>[要約] (独) 東北農業研究センターで育成された水稻糯品種の紫黒米‘朝紫’は本県において栽培すると‘キヌヒカリ’より出穂が4日早い早生の早である。紋枯病にはやや弱い、耐倒伏性強、脱粒性難であり、栽培が比較的容易である。収量性はやや低い、玄米の粒色は濃紫黒で外観品質が良く、赤飯あるいは赤餅用としての用途が期待される。</p>	
(実施機関・部名) 神奈川県農業総合研究所 生物資源部 連絡先 0463-58-0333	

#### [背景・ねらい]

米の需要拡大および消費者ニーズの多様化に対応するために、各種の新形質米が育成されている。中でも紫黒米はアントシアニン系の色素（ポリフェノールの一種）を多く含むことで、消費者、生産者共に関心が高い。そこで本県に適した紫黒米の品種を選定し、その品種特性および利用法について検討する。

#### [成果の内容・特徴]

1. 水稻紫黒米の‘朝紫’は糯品種である。本県においては‘キヌヒカリ’より出穂が4日、成熟が6日早い早生の早である（表1）。
2. ‘朝紫’の草勢は比較的旺盛で、稈長は‘キヌヒカリ’よりやや長く、穂長、穂数は‘キヌヒカリ’並、草型は「偏穂重型」である（表1）。
3. ‘朝紫’は紋枯病にやや弱い、他の病害に対してはやや強～強、耐倒伏性強、脱粒性難であり、栽培が比較的容易である（表1）。
4. ‘朝紫’は‘キヌヒカリ’より収量性はやや低い、供試した紫黒米のなかでは収量は安定して高い（表2）。
5. 玄米の形状はやや長く、千粒重は‘キヌヒカリ’よりやや軽く、通常の籾すり機が使用可能であり、粒色は濃紫黒で光沢が有り、外観品質は優れる（表2）。
6. 消費者アンケート調査では、‘朝紫’の玄米を5～10%入れた赤飯あるいは赤餅の外観および食味は、良い～やや良いが概ね半数を占め、好評である（図1）。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 一般品種への種子の混入を避けるため、収穫・乾燥・調製用の機械類は充分掃除を行う。また移植時の流れ苗、ほ場でのこぼれ種等に充分注意する。
2. 出穂が早く雀害を受けやすいので、対策を施す。
3. 種子は育成者と許諾契約を締結している種苗会社等から購入する。

[ 具体的データ ]

表 1 生育調査結果

品種名・系統名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 程度	病害の発生程度		
							穂いもち	紋枯	縞葉枯
朝 紫*	8/ 9	9/16	84	19	281	0	0	1.8	0
おくのむらさき*	8/ 9	9/17	77	22	230	0	0	0	0
紫黒米(相模原系)**	8/24	10/ 9	77	23	218	1.5	0	2.0	0
中部糯114号***	8/ 9	9/19	77	19	303	0	0	1.5	0
比) キヌヒカリ*	8/13	9/22	75	18	297	0	0	0.5	0

注) \* 平成14,15年度の成績      \*\* 平成14年度の成績      \*\*\* 平成15年度の成績  
倒伏および病害の評価：0(無)～5(甚)

表 2 収量調査結果

品種名・系統名	わら重 (kg/a)	玄米重 (kg/a)	屑米重 (kg/a)	玄米千 粒重(g)	玄 米			脱粒 性	種 類
					品質	形状	粒色		
朝 紫*	60.1	44.1	2.3	21.0	4	やや長	濃紫黒	難	糯
おくのむらさき*	54.5	43.5	3.6	25.5	5.5	やや長(大)	濃紫黒	難	うるち
紫黒米(相模原系)**	67.4	37.3	6.7	22.3	6	細	濃紫黒	易	うるち
中部糯114号***	51.2	39.1	2.5	21.8	5	やや長	濃紫黒	難	糯
比) キヌヒカリ*	62.6	47.4	1.6	22.9	5	中	中飴	難	うるち

注) 玄米品質の評価：1(上の上)～9(下の下)

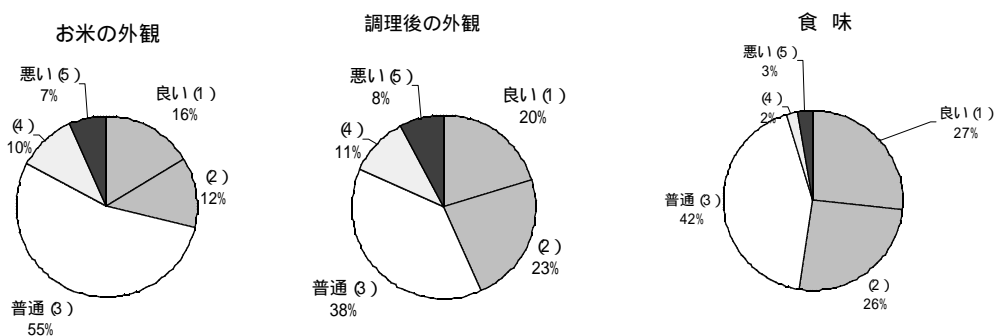


図 1 紫黒米「朝紫」食味アンケート調査結果  
実施日：平成15年1月～2月      パネラー：消費者 105名

[資料名] 平成14,15年度試験研究成績書(作物)  
[研究課題名] 奨励品種決定調査  
[研究期間] 平成14～15年度  
[研究者担当名] 大嶋保夫, 北川高弘, 増田義彦(企画調整部)